

質問	北越戊辰戦争および小千谷談判に関して、『山口県史』『山口市史』及び山口の郷土資料で書かれたものはあるか。山口県からみた北越戊辰戦争がどのように記述されているか知りたい。
回答	<p>「山口県史」「山口市史」には記述が見当たらない。 古典的な資料としては山県有朋の「越の山風」がある。 『定本奇兵隊日記』中巻(マツノ書店)には簡単な事実だけ記載。 『防長回天史』第6編上の第12章 越後口戦争(マツノ書店版で第10巻P.480～)に、記述あり。(防長回天史の著者は小倉出身だが、毛利家の史料を使っている) 昭和の著書として、谷林博『世良修蔵』(新人物往来社・のちにマツノ書店)に、世良の暗殺に続いて北越戦争についても触れている。(著者は執筆当時柳井市立図書館長) 下関在住の作家古川薫氏の『長州奇兵隊 栄光と挫折』(創元社)には、「討幕の戦い」の章のうち「北越の激闘」(P.151～156)、「無名戦士」の章のうち「万骨枯る」(P.183～)に関連する記述あり。 近年の出版物では、一坂太郎『奇兵隊士列伝(二)』(萩ものがたり)に時山弥八(北越戊辰戦争で戦死)の章があり、そこに記述あり。(著者は兵庫県出身だが、山口県在住)</p> <p>県内出身者の伝記の一部や作家のエッセイには記述があることもある。地域史料としては、直接山口県を舞台にした出来事ではないので、記述が見当たらない。</p>
回答のプロセス	
資料	山県有朋「越の山風」 『定本奇兵隊日記』中巻(マツノ書店) 『防長回天史』第6編上の第12章 越後口戦争(マツノ書店版第10巻) 谷林博『世良修蔵』(新人物往来社・マツノ書店) 古川薫『長州奇兵隊 栄光と挫折』(創元社) 一坂太郎『奇兵隊士列伝(二)』(萩ものがたり)
備考	